

令和7年度 学童クラブ待機児童対策計画

区市町村名

立川市

令和7年4月1日時点の学童クラブ待機児童数

252人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

- ・ 郊外部では、農地が宅地化するケースが多く、都市部では、老朽化したビル、店舗跡地にマンションが建設され、局所的に児童数の増加が起きているため。
- ・ 1年生の学童申請率が年々増加している。放課後に、学童保育所か放課後子ども教室のいずれかに行く児童が9割以上を占める学校もある。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

拡充型放課後子ども教室の全校導入を進めるとともに、中長期的な視点で、少子化の傾向は否めないことから、新たな公共施設や市職員を増やすことなく、民間の活力度や施設を適宜活用しながら、受け皿を確保する。

(2) 具体策

- ・ 拡充型放課後子ども教室を全校に導入するとともに、新1年生の利用開始時期を4月給食開始時期に前倒しを行う。
- ・ 西砂学童保育所を建替え、拡充型放課後子ども教室との合築施設を建設し、学童保育所の定員を30名増員する。
- ・ 定員25名の上砂スマイル学童保育所を新規開設する。
- ・ 拡充型放課後子ども教室が未導入の学区については、ランドセル来館事業を行い、学区内に児童館が無い校区については、サマー学童保育所を実施する。
- ・ 市ホームページに、学童保育所の候補となる不動産(テナント)の募集記事を掲載し、随時、学童保育所に適した物件を募集し、学童の新規開設を検討する。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

- ・ 拡充型放課後子ども教室の導入校の増、あるいは、新1年生の利用時期前倒しにより、学童保育所の利用申請が減少する。
- ・ 新規学童開設により、定員を25名増やすことで、待機児童が減少する。
- ・ 学童保育所の建替えを、定員増、および、放課後子ども教室との一体型を視野に行うことで、待機児童の減少に寄与する基盤を作ることができる。
- ・ ランドセル来館を実施することにより待機児童の居場所が確保が出来、待機児童対策となる。

4 これまでの推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生児童数	8619	8586	8562
増減		(33)	(24)
登録児童数	1916	1941	1913
増減		25	(28)
待機児童数	202	212	242
増減		10	30

5 今後の見込

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	累計	
小学生児童数	8547	8461	8369	8286		
増減	(15)	(86)	(92)	(84)		
申込児童数	2097	1963	1866	1792		
増減		(134)	(97)	(74)		
登録児童数	1878	1787	1794	1792		
増減	(35)	(91)	7	(2)		
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡充型放課後子ども教室における新1年生の利用開始時期の前倒し ・ 学童保育所の開設(定員25名) ・ 西砂学童保育所の建替工事 ・ ランドセル来館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡充型放課後子ども教室4小学校区への新規導入 ・ 西砂学童保育所の建替え工事に伴う定員増(30名) ・ ランドセル来館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡充型放課後子ども教室 ・ ランドセル来館 ・ その他検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡充型放課後子ども教室 ・ ランドセル来館 ・ その他検討中 		
待機児童数	219	176	72	0		
増減	(23)	(43)	(104)	(72)		(242)